

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名:羽島市発達支援センター「発達教室もも」
 公表:令和6年4月5日 調査時期:令和6年2月
 利用者数:75 回答数:59(割合78%)

環境・体制整備		はい	「はい」の ポイント	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	58	98			1	走り回ることができる。確保されている。おもちゃがきれいに片付いており、運動の部屋も整っているイメージです。全部のスペースを見ていないのでわからない。
2	職員の配置数や専門性は適切であるか	54	92			5	1対1なので安心できる。一人一人先生がついてくれるので、とても安心できる。子ども一人に一人の先生なのでいいと思う。一人のこどもに担当が一人ついてくれるので安心感がある。適切である。支援を受けたい子が増加していると思うので、支援員の人数が増えていくといいと思う。
3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、バリアフリーやわかりやすい掲示等が適切になされているか ※①	55	93			4	かばん置き場に名前があったり、手帳や水筒等の置き場がわかりやすい。各自のマークがあって、とてもわかりやすい。マークがあるのでこどもにわかりやすい。くつやかばん等の場所がわかりやすいようにマークづけされていて助かる。バリアフリーでわかりやすく掲示されていると思う。くつ箱、荷物置き場等、シールや目印があり、こどもにわかりやすく表示してある。全部を見ていないのでわからない。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	56	95			3	とても広い。十分だと思う。手洗い場の床を、先生がさっさと拭いていたのが、細かな気遣いで素敵だ。いつも整理整頓されていて、こども達も活動しやすいと思う。全部を見ていないのでわからない。子ども用トイレに仕切りがなく抵抗を持つ子もいるので、簡易的な仕切り等があればもっといいと思う。

※① 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、何をどのようにするのが子ども本人にわかりやすくなるよう、例えば机や収納マークの配置や指示の仕方を整えることです

適切な支援の提供		はい	「はい」の ポイント	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか(※②)	58	98			1	客観的に見てくださるので発見がある。定期的に話し合う場が設けられており、計画が作成されている。数カ月一度面談をしていただき、計画案が作成されるので嬉しい。
6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインで示す内容から、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか ※③	53	90	1		5	できないことを重点的に支援内容が設定されている。まだ行き始めたばかりなのでよくわからない。
7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	53	90	2		4	行われている。一部、計画した支援がされていなかった。

8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか ※④	56	95	1		2	その時その時の子供に合わせて、活動を変えたりしてくれている。 一人一人に合った活動をしている。 いつも、「今日こんなことしたよ」と話し、楽しそうにしている。 色々なことを経験させてもらっている。 通い始めなのでわかりません。
9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流(通園)や、いろいろな友達と活動する機会があるか ※⑤	47	80	4	1	7	イベントの時に交流できる。 定期的に園との交流の場が設けられている。 ももの子とは交流があるが、それ以外はない。

※②「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、実態や環境、日常生活全般の状況に関して確認した上で、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、これは、児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※③児童発達支援ガイドラインの示す内容とは、「児童発達支援の提供すべき支援」である「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」のこと

※④「活動プログラム」とは、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

保護者への説明等		はい	「はい」のポイント	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	59	100				丁寧な説明があった。
11	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容や支援のねらいの説明がなされたか ※⑤	59	100				わかりやすく説明してもらえた
12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか ※⑥	45	76	5	2	7	子どもとの接し方をわかりやすく教えてもらえた。 声かけを、教えてもらっている。 ノートや帰り(お迎えの時)に教えていただくが、同居の家族への伝え方が難しい。 母のみならず、父親の勉強会等があると、父親の理解度がますのではないかと思う。
13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	58	98		1		できたことや挑戦していることなどを教えてもらい助かっています。 共通理解ができている。 身体のことを心配して頂いてありがたいです。
14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	58	98		1		十分行われている。 面談の際は、寄り添ってくれるような言葉を掛けてもらい助かる。
15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	28	47	10	3	18	親同士の交流の場が欲しい。 まだ機会がない。 同じ時間の方とお迎えの時に挨拶する程度。 保護者同士の連携が支援されているかわからない。 保護者同士の連携は、コロナ禍もあり難しかったかなど、感じる。
16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備され周知されているか、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	53	90			6	対応されている。

17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	56	95	1	2	2	ノートを通して情報伝達のための配慮ができています。連絡ノートがあります。
18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	41	69	2	2	14	発信されているかわからない ホームページがない。
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	56	95			3	十分注意されている。

※⑤児童発達支援ガイドライン 第2章児童発達支援の提供すべき支援(ねらい及び支援内容)に基づいています

※⑥「ペアレント・トレーニング」とは、保護者が子どもの行動を観察して行動の特徴を理解したり、それを踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

非常時等の対応		はい	「はい」のポイント	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか ※⑦	47	80		2	10	定期的に行われている。1月の大雪警報時、メールの連絡があったことで安心できた。幼稚園では避難訓練などあるが、ももではどうなっているかわからない。地震も多くなっているので、年に1~2回くらいは訓練があってもいいと思う。すみません、読んでませんでした。
21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか ※⑦	42	71		2	15	行われている。本棚のファイルを読んでおきます。

※⑦ フリースペース本棚上段に設置してある「事業者のご案内」ファイルをご覧ください

満足度		はい	「はい」のポイント	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
22	子どもは通所を楽しみにしているか	59	100				とてもその通り。とても楽しく通っている。いつも楽しみに通っている。友達や先生に会えることを楽しみにしている。家でも先生の名前が出るくらい楽しみにしている。毎週楽しみにしている。園と違って自分のやりたいことができるので、「楽しい」と言っている。園のお迎えが早いことも喜んでいる。毎日通いたいと言っている。3年間、たくさんの笑顔を引き出してくださってありがとうございました。
23	事業所の支援に満足しているか	57	97	1		1	親にも寄り添ってもらえるので本当に感謝している。十分満足している。全体的に満足している。かなり成長した。利用できて大満足です。まだ始めたばかりなのでわからない。